



特集

問う いつまで続く？
厳しい予算編成
「行財政改革」の加速化で
何が変わる？

令和6年第1回定例会Pickup案件

- ・本籍地以外でも戸籍謄本等が
取得できるようになりました
- ・市議会委員会条例を一部改正しました



CONTENTS

特集 令和6年度当初予算	P.2
令和6年第1回臨時会、令和6年第1回定例会の結果	P.6
一般質問（13人27項目）	P.8
議会活動報告	P.18
令和6年第2回定例会の予定	P.20

春の便り

菅原 寧々

SUGAWARA Nene

名古屋芸術大学 芸術学部

2023年度 卒業制作

4ページにわたって特集します

第1回定例会では、新年度の当初予算が提出され、2日間に渡って予算決算常任委員会で審議しました。その中での質疑と答弁の一部をピックアップして紹介します。令和6年度当初予算の詳細は市ホームページや4月号広報をご覧ください。



公共施設適正化 1億1,757万円

- ・鹿田西赤土児童遊園 解体工事
- ・東庁舎分館 解体設計
- ・六ツ師女夫越児童遊園 解体工事
- ・徳重保育園 土地購入
- ・旧ひまわり西園 解体工事
- ・九之坪東運動広場 解体工事
- ・師勝南小学校プール 底撤去工事



老人クラブ補助金 ▲300万円



RUNフェスタ廃止 ▲900万円



DX推進

総合保育システム導入・ホームページリニューアル 7,157万円

デジタル田園都市国家構想交付金(歳入) 3,010万円

自治会長謝礼 ▲212万円

建設事業見直し ▲1億3,000万円

小学生ヘルメット配布

▲216万円

※購入補助金の対象を小学校新1年生に拡大155万円



市長・副市長・教育長給与削減

▲585万円



ジャンボプール利用料



大人 450円 → 450円 小人 150円 → 450円※

※市内在住の小中学生は150円

3 行財政改革

借地料の縮小

DX推進

民生費の削減

学校の統廃合

行財政改革実行プランで計画している目標は、どの辺りまで借地料を落として、どういうスケジュール感でやるか、中長期的でいいですけども。

プランの中で着実に施設の再配置、統廃合等で借地を減らしていく必要があると考えます。幾らにするとか、いつまでにするかは、今進めております適正化計画でお示しできると思っております。

総合保育システムとかホームページのリニューアルとか、デジタル田園都市国家構想交付金がつかなかった場合、実施されるのかされないのか、現時点でその考えはあるのかお聞かせください。

今の市の財政状況を考えますと、一般財源からの持ち出しは大変厳しいと感じております。

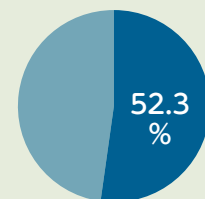
どんなまちづくりを目指されるのか、どこに重きを置いて予算をつけていくのか、その取捨選択と、何よりスケジュールがない。これまでの、場当たり的に予算組みして、何とかなるだろうというようなやり方から脱却できているんですか。

本当にこの北名古屋市は何も計画がなかったのがこの2年かけてよく分かりました。何から手をつけるのか、方向性をしっかりこの1年間で計画もつくりたいと思っています。

令和6年度 当初予算

問う

いつまで続く？ 厳しい予算編成「行財政改革」の加速化で何が変わる？



義務的経費

160億5,102万円

令和5年度比

人件費 54億1,450万円(+1億7,545万円)
扶助費 76億9,356万円(+6億4,698万円)
公債費 29億4,296万円(+225万円)

令和6年度当初予算(歳入・歳出)

306億9,300万円

令和5年度
296億3,000万円
(3.6%増)



財政調整基金

令和5年度末現在高 30億2,810万円 → 令和6年度末現在高 15億1,446万円

令和6年度取崩し額 15億1,383万円

予算決算常任委員会で 審議した時間

9時間50分



2 ふるさと納税による市民税の流出

ふるさと納税の入りと出の状況をどのように見られているか教えてください。歳入は8,500万円、市民税の流出は約2億8,000万を少し上回ると見込んでおります。

驚く流出額で、何とかしないと、と思います。ふるさと納税そのものの仕組みが、あたかもお得に買えるシステムと思われている方も多いと感じています。趣旨を知っていただくことも必要かと思うんですが。

おっしゃるとおり、非常に大きな問題として認識しています。けれども、実際は恐らくまだ2割3割しかやっていないんです。これだけ流出しています、とPRすることによって逆に7割が外にしてしまったら、と判断に迷うところがございます、勉強しながら研究をして取り組んでまいりたいと考えております。

2割の方しかやっていないのに2億円が流出しているというのはすごく大きい、そういったことも包み隠さず市長の口からお伝えしていただけたらと思うんですが、いかがでしょうか。

市民説明会でも、小さな会合とか話ができればいい場合には必ずそのような話をしていますので、なるべくならやめてくださいと私の口からも言っておきます。財政豊かだったら言わないけれども、というところで私も頑張りますので、議員の皆さんもご協力いただければありがたいと思います。

1 財政調整基金の取崩し

財政調整基金の取崩しが常態化しておるわけで、10億円規模の経費を削減しなければいけないと思うんですが、プランをどう考えてみえますか。

令和8年度には枯渇するんじゃないかと非常に危機感を持っておるといえるところですよ。

やはり、公共施設の適正配置、借地料の縮減を着実に進めていく必要があると捉えております。

本年度約15億円取り崩すということで、取り崩し過ぎじゃないかと思うんですけど。我々もそのように感じております。

急激な義務的経費の増加に対応するため、基金を取り崩しているところがございます。今回はかなり歳出も削減していますけれど、最終的にバランスを見てここに落ち着いたかと考えております。

8 高齢者福祉施設 さかえ荘・さくら荘

ふたば荘は7月に廃止とお聞きしております。
さかえ荘とさくら荘について、施設の更新、集約の検討はど
こまで進んでいるのかお聞かせください。
さかえ荘は毎月1,000人ほど、さくら荘は750人ほどの利
用状況で、せめて10年ぐらいは必要と考えておるところです。
ただ、施設の適正配置もさらに審議が深められるので慎重
に検討していく必要があります。憩いの家の役割は今後変化
していくのではないかと、その動向はしっかり見極めながら考
えていきます。



10 RUNフェスタ廃止

継続できる方法、財源のかからないやり方とか、代替えの案
とかありましたらお聞かせください。
本市には河川敷や大きな公園がないため、安全を十分に確
保して運営するための警備員や機材の借用が必要となります。
厳しい財政状況の中、代替財源もなかったことから、廃止
の判断をいたしました。廃止の新聞報道後もスポーツ推進員
と近隣の視察を行い、財源がない中でどのように進めていけ
るのか抜本的な見直しを行い、団体と研究してまいります。

形を変えながら維持されてきた、ということは、市民から愛
されるスポーツ大会だったと思います。
参加者相互の交流が図られ、市の象徴的な、運動だけではな
い意味を持っているということも含めて大事なものは続けて
いく努力をお願いしたいんですが、どのようにお考えでしょ
うか。
RUNフェスタは市内企業などから多くの協賛をいただきま
した。そういったつながりを大切にしつつ、スポーツ関連団
体と一緒にお金のかからない方法を模索していきたいと思っ
ております。



7 きたバスの減便 (2024年問題)

タクシーのような小回りの利く公共交通であってほしいとい
う要望が高かったということで、タクシーの運転手事情も同
様なのか教えてください。
タクシーも同様だと聞いています。
きたバスとは別の公共交通の形も模索して、幅広く検討して
いく必要があるのかなと思うんですけど。
利用者のニーズ、タ
クシー・バスへの思
い、いろいろあると思
います。公共交通会議
の中で市民の意見も取
り入れながら、よい公
共交通にしていきたい
と考えております。



9 民間プールの活用

4校を、西春日井スイミング、衛生組合温水プールを利用さ
れるということですが、4校以外のプールの状況と代替え
計画を教えてください。
残り12校もほとんどが40年以上経過し、配管、ろ過器が
悪かったり、プールサイドに亀裂が入っていたり、そんな状
況がございます。
水泳授業ができると判断したプールは引き続き使って、授
業ができない場合は民間プールを活用していく方針です。
受け入れ体制はできるということですか。

2施設の責任者には状況をお伝えするとともに、夏に使え
ない状況になったときにも受入れができるよう事前に相談し
ております。
ジャンボプールを使えるように、稼働を深める検討はされて
おみえですか。
過去に検討し、水泳事業の観点からいきますと、25mプー
ルが3コースしかない、あと、あれだけの施設に全て水を入
れなくちゃいけないので、緊急時の対応としてはいいんです
けれども、継続的な対応は難しい施設と考えております。



4 自治会長謝礼・自治会要望の見送り

自治会長が必死に地域のことをやっていたから今までスムーズに来てるんです。
そういう中で細かい説明なしで新聞に出た。道路改良事業、自治会要望の見送りと書いて1億3,000万円がカット。この予算削
減をどういう形でやられたか教えていただけませんか。
予算を編成することは本当に大変でした。(当初) 40億オーバーしていて、平和夏まつりを開催するため、何かを減らすとこ
ろで自治会長の謝礼と運営補助金を削減させていただきました。
自治会長の謝礼は、県下の市の半分以上は出していないところで、自治会長と市役所の距離感は近いので、話を個別にさせて
いただくことでご理解いただけるものと甘い見識でいたるところです。
ただ、自治会の運営費は、若干見直しが必要であると思います。またいろいろ自治会のご意見や市の財政状況等を考慮しなが
ら進めていきたいと思っています。
自治会要望に基づく道路改良工事の現状は。
全部、自治会要望をカットされているわけではなくて、緊急性の高い修繕費は例年どおり確保されています。
ちゃんとした老朽化対策の計画を立てた上で、どう進めていくかを検証しなきゃいけないと思っています。

自治会長の謝礼について、いろいろハレーションもあるということなんですけど。
査定が出て、直接、財政状況や、県内の半数以上で謝礼が支払われていない状況も説明し、削減の話をさせていただきましたが、
中には担い手不足や自治会長の職務が重いところでの削減について不満を持っている方もいらっしゃいました。
本音を言い合う集会、話し合いは必要だと思うんです。しっかりやっていかないと不満が残って、こうやってハレーションが起こ
るわけで、まだくすぶっていると思うんですけど、どう思われますか。
確かに、自治会長会の席でお話をしなきゃいけないというのは十分反省しているところです。
スピード感も持って予算編成しなきゃいけないところで説明責任を省いてしまったので、今後そういうことがないように、た
だ、全部に説明するのも難しいので、その辺はご理解、ご批判をいただきながら、改善できるものはしていきたいと思っています。



6 市長の報酬削減

20%削減されていますけど、どういう
状況になったら戻すと考えていますか。
今年1年をかけて、どういう行程を
つくるのかというのをやります。
その後、実行しながら選挙を向かえ
ますので、この形が受け入れられれば
この20%はやめてもいいと理解して
います。

5 まちづくり振興基金の活用

まちづくり振興基金は幾ら使える状況になっていますか。
5億4,000万円になります。
今回、自治会とかどんどん切られている、そういうものを復活するために、まち
づくり振興基金があると思っているわけです。
市民が楽しみ、絆をつくるため補助は要る。来年以降まちづくり振興基金を使っ
てもらいたいです。
できる限りそこは活用せずに予算編成したいという思いでやっておりました。
当然、必要とあらば、活用も検討していきたいと思っています。

この他にも、市に関わる大切な課題について審議をしています。
ぜひ、ホームページから、録画配信や会議録をご覧ください。

10月～翌年2月

予算案の作成

(9月)
第3回定例会

決算を
市議会に提出

市議会がcheck

4月～翌年3月

事業の実施

(3月)
第1回定例会

予算案を
市議会に提出

市議会がcheck

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第24号	令和 6 年度北名古屋市下水道事業会計予算について	全員賛成 原案可決
議案第25号	北名古屋市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第26号	北名古屋市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第27号	北名古屋市視聴覚ライブラリー設置条例の廃止について	
議案第28号	北名古屋市プールの設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第29号	北名古屋市運動広場等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第30号	北名古屋市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全員賛成 原案同意
議案第31号	北名古屋市固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第32号	北名古屋市固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第33号	令和 5 年度北名古屋市一般会計補正予算(第10号)について	全員賛成 原案可決
議案第34号	北名古屋市議会委員会条例の一部改正について	

色の付いている議案をピックアップし具体的にどう変わるのかを(P.6～7)に掲載しております。

全ての議案内容は、
北名古屋市ホームページの
「議案・請願とその審議結果」を
ご覧ください。



マチイロ

議会だよりが
アプリで読めます。



市議会の組織機構改革により部署の名前が変わることから、
市議会委員会条例の一部改正しました。

Pick up

議案第34号 北名古屋市議会委員会条例の一部改正について
市議会委員会条例の一部改正しました



令和6年3月1日から

Point
01

北名古屋市に本籍がない方も、戸籍謄本等が取得できるようになりました。本市に本籍のある方が全国の自治体で取得することも可能です。
※より厳密な本人確認書類(顔写真付きの身分証明書)が必要です。

例 相続の手続き など

Point
02

戸籍の届出時に必要だった戸籍謄本等の提出が不要になりました。

例 婚姻届の提出、転籍届の提出 など

令和6年度予定

戸籍(除籍)電子証明書提供用識別符号を申請先の行政機関に提示することにより、戸籍謄本等の添付が不要になります。

例 パスポートの発給申請 など



こんな質問が出ました
Q 電子証明書提供用識別符号は、どのように申請するのか。
A 市民課窓口の申請や、今後、スマートフォン等による申請となる。
Q 市として安全性についてどのように考えるか。
A マイナンバーカードの利用には2種類の電子証明書が必要で、スマートフォン本体の生体認証と併用することも可能であり、セキュリティに対する安全性は確保されていると考えている。

Pick up

議案第2号 北名古屋市手数料条例の一部改正について
本籍地以外でも
戸籍謄本等が取得できるようになりました



令和6年 第1回臨時会 報告

令和6年第1回臨時会が1月22日に招集され、以下の議案を審議しました。

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第1号	令和5年度北名古屋市一般会計補正予算(第8号)について	全員賛成 原案可決

令和6年 第1回定例会 結果

会期 2/22～3/21 29日間

条例の制定 4件 補正予算 4件
 条例の改正 13件 新年度予算 7件
 条例の廃止 1件 人事案件 3件
 条例の改正(議員提案) 1件

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第2号	北名古屋市手数料条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第3号	北名古屋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
議案第4号	北名古屋市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	
議案第5号	北名古屋市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	
議案第6号	北名古屋市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の一部改正について	
議案第7号	令和 5 年度北名古屋市一般会計補正予算(第9号)について	賛成多数 原案可決
議案第8号	令和 6 年度北名古屋市一般会計予算について	
議案第9号	令和 6 年度北名古屋市土地取得特別会計予算について	全員賛成 原案可決
議案第10号	北名古屋市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	
議案第11号	令和 6 年度北名古屋市国民健康保険特別会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第12号	令和 5 年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	全員賛成 原案可決
議案第13号	令和 6 年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計予算について	賛成多数 原案可決
議案第14号	北名古屋市国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第15号	令和 6 年度北名古屋市介護保険特別会計予算について	
議案第16号	北名古屋市介護保険条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第17号	北名古屋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
議案第18号	北名古屋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	
議案第19号	北名古屋市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	
議案第20号	北名古屋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
議案第21号	北名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案第22号	令和 5 年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)について	
議案第23号	令和 6 年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計予算について	

一般質問

9～12ページ掲載

代表質問

質問議員 4人
質問 4項目

13～17ページ掲載

個人質問

質問議員 9人
質問 23項目

一般質問の内容を動画で視聴できます。
市ホームページの「市議会」から「議会録画中継」を選択してご覧ください。

一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。

今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容がありますか？

代表質問とは

所属する会派を代表して、市政全般にわたって、執行機関（市長など）に質問することです。

代表質問は、施政方針または所信表明の行われる定例会で行われます。

令和6年度施政方針について

質問者 神田 薫（市政クラブ）

答弁者 市長

予算編成について

問 地域コミュニティの醸成、防災力強化機能を残した施設の統合、学校運動場の有効活用を提案する。

答 時代に合わせた市民サービスの維持・向上につながる統廃合に向け、課題整理、調整を進める。

問 市民説明会・対話集会から市民の提案で実現したものは。

答 動画の活用など手法を工夫した。

問 県や名古屋市とのタイアップ事業の考えは。

答 県が設置するステーションAーとの連携を模索している。

問 市長の目指す政治とは。市民・商工会・自治会に向け、具体的に。

答 山積する課題を先送りすることなく不退転の決意で取り組む。

問 市自治基本条例制定は、市長主導で進めてほしい。

答 市民主体でつくる過程が重要。様々な市民参画の手法を検討する。

自治会・災害対策について

問 自治会長謝礼、補助金の見直しはあまりにも拙速。自治会長からも相談を受けている。

答 2月に総会が終わった今、削られても大変との声を聴き、考える余地を持たなくてはと反省する。

問 加入促進の取組、補助金に代わる自主的・自立的な運営支援とは。

答 他の先駆的な取組を自治会と共有するとともに、自治会活動の重要性を周知することが重要。活動基盤が強化されるよう支援する。

問 課題が山積する自治会のあり方は、市民との議論が必要では。

答 自治会長同士の意見交換会等で、課題や改善要望を共有し解決策をともに考え協議していきたい。

問 自治会業務の負担軽減策とは。

答 委員選任、協力行事・会議の見直し、回覧の削減や、自治会行事の合同開催の促進を検討している。

問 避難所対策として新設備導入は。

答 復旧復興状況の調査研究に努め、導入の際は、国、県からの補助金を最大限活用し整備していく。

問 災害時、自治会と情報共有は必須。高齢者・障害者施設を福祉避難所として利用する考えは。

答 防災アプリ導入で自治会との共有を図る。実効性ある開設・運営を目指し関係部署と協議する。

問 能登半島地震の派遣報告から市状況化対策整備計画への考えは。

答 国から対策・指針が示されれば速やかに対応する。

問 災害現場では地元業者、商工会、自治会の協力と連携は必要不可欠。官民の絆づくりへの考えは。

答 現在52事業者と災害協定を締結、官民交歓会、地域の訓練支援に取り組んでいる。

歴史民俗資料館の有料化について

問 公共施設の適正化として、日本博物館協会賞を受賞し、「博学連携」とよばれている事業からも新しい時代に向けた社会教育施設の有効活用努力として、その価値に入场料を課す考えは。

答 有料化等の具体的な検討を開始したところ。満足度と集客力を高め、他にない魅力と価値を持った博物館の実現を目指す。

DX推進について

問 総合保育システム導入は、安全な保育運営と人材確保・質の高い保育、子育てをしたいまちとして子育て世代の住民増加を期待する。

答 保育士が子どもと向き合う時間を増やすことが保育の質の向上となり、子育てしやすいまちづくりの創造に繋がるものと考えてる。



代表質問

令和6年度施政方針について

質問者 さいとう 裕美(公明党)

答弁者 市長

市役所東西庁舎配置換えについて

問 スムーズな利便性に行きつくまでの間、窓口の混乱を避けるべく、案内係（コンシェルジュ）を配置しては。

答 少ない人員で効率的な運営を行うため、案内専門職員の追加配置ではなく職員全員がその意識をもって対応する形を取りたい。

ジャンボプールの値上げについて

問 公共施設の適正化として実施される、市外利用者の使用料値上げ。利用者の7割が市外とのことだが、市内・市外の区別の方法は。

答 市内小学生には市が用意する在任証明カードを、市内中学生には生徒手帳を持参してもらう予定。

市有地売却・借地解消について

問 広報2月号の行財政改革実行プランの記事を読んだ市民から「市から土地返還の話は聞いていない」との声が。市民への説明責任は。

答 地元自治会関係者には建物取壊や借地返還の説明をしている。今後、詳細が決まり次第報告する。

問 児童遊園・運動広場の総量縮減と言われるが、市が適切と考える数は。不安を感じている保護者のため、丁寧な説明と子どもが遊べる施設・公園の紹介を求める。

答 児童遊園や運動広場に限らず、横断的な視点から施設の集約・複合化を進める。適切な数を個別の施設から判断するのではなく公共施設全体を見渡したうえで必要なサービスが提供できるよう検討する。

問 児童遊園・運動広場を総量縮減した後、都市公園の設置など、どのような未来を描くか。

答 ニーズの高い都市公園の新設は積極的に検討する。適正配置を実現し、満足度の向上・健康促進・コミュニティの結束強化など、持続可能で魅力的な都市を目指す。

代表質問

令和6年度施政方針について

質問者 上野 雅美(立憲民主党)

答弁者 市長

財源不足による取組について

問 道路改良事業の見送りとのことだが、緊急案件への対応基準は。

答 緊急性の高いものは道路補修工事として予算確保しており、必要なインフラ整備は随時対応する。

問 団体補助金の見直しは、当該団体への丁寧な説明と対応が必要。

答 指摘のとおり。私自身は元より担当からも丁寧な説明と対応をしており、引き続き努力する。

問 自治会を含め各種市民団体の担い手確保について伺う。

答 市民活動センターで活動主体同士との交流から輪の広がりを期待。

問 マッチングだけでなく補助も必要では。支援のあり方の考えは。

答 市民・団体からやりたいことを要望してもらい支援したい。対話しながら決めていく。

問 自治基本条例制定について、具体的な検討方法は。

答 市民意見聴取の場づくりや公募市民による条例素案作成など様々な市民参画の手法を検討する。

行財政改革と自主財源の確保について

問 行財政改革と行政サービス向上とのバランスをどう感じているか。

答 市民説明会アンケートでは、行財政改革の評価は8割。期待と励ましの言葉も多々あった。一刻も早く財政健全化を進めサービスを充実させるため、着実に進める。

問 今後の工場誘致等の自主財源の確保についての考えを伺う。

答 交通便利性の高さや国家戦略特区（緑地の規制緩和）を活用し、工場の新規誘致や規模拡大を図り、自主財源確保に繋げたい。

総合保育システム導入と子育てしやすい保育環境について

問 軽減される保育士の負担と保護者との意思疎通の効果は。

答 欠席連絡、活動報告、乳児連絡ノ

Dx推進について

問 一人ひとりが最低限度の情報通信技術を活用できる環境を保障する「デジタル・ミニマム」の視点を踏まえ、デジタル機器に不慣れな高齢者等に対する環境整備に努めてほしい。

答 高齢者向けスマホ講座などを実施しており、今後も継続すべき課題と認識する。デジタルにおけるサービス導入では、文字の大きさや分かりやすい表現を用いるなどの配慮も必要と感じている。



問 デジタル技術の活用で、申請主義からプッシュ型行政サービスへと転換の促進を求める。

答 既に、子育て世帯へのギフトカード配布で申請不要とするなど、デジタル以外でも実現している。今後も公式LINE等を活用する。

5歳児健診の導入について

問 国は5歳児健診実施自治体への助成事業を始めている。子育てしやすいまちを目指し組織体制が見直されるこの機会に導入を求める。

答 有効と認識するが、医師や専門職の確保が困難なうえ、健診で所見がみられた場合の地域のフォローアップ体制整備も重要。専門の医療機関、保育園、幼稚園などの関係機関と連携を取り、他自治体の情報収集をして研究する。

自治会の負担軽減について

問 自治会に代わって今後、市が主体となって取り組む業務とは。

答 行政からの依頼事項や委員の選任、協行事務や会議の見直し、自治会回覧の削減等を進めたい。

問 避難所マニュアル見直し、避難所運営訓練実施の考えは。

答 今後も課題整理と検証を進める。

問 水道が利用できない環境を想定したトイレ対策について伺う。

答 市建設業協議会や民間企業の協力を得て資機材確保に努める。

児童遊園・都市公園の適正配置とインクルーシブ公園について

問 児童遊園と運動広場は利用者の年代や状況が違う。広く市民と話し合う機会を。インクルーシブ公園（障害の有無に関わらず全ての子どもが遊べる公園）を検討しては。

答 公園の設置は近隣住民の意見を踏まえ計画する。インクルーシブ公園は、先進事例の研究、学識経験者・近隣住民との意見交換や場所の選定等段階的な検討が必要。

市民説明会・対話集会について

問 昨年同様、募集して進めるのか。意見や提案は、今後どう政策として取り組むのか。

答 引き続き市民説明会の実施と、対話集会は、応募型と併せてテーマを設けた開催も検討している。



代表質問

令和6年度施政方針について

質問者

渡邊

麻衣子(日本共産党)

答弁者

市長

防災基盤の強化について

問 能登半島地震での派遣職員からの報告を受けた市長の所感は。

答 本市に置き換えた場合、職員の交代体制の運用を図り、災害時相互応援協定締結自治体と連携を図り、長期的な災害対応に臨む所存。

問 木造住宅の耐震診断・改修への補助を昭和56年以後の新耐震基準の住宅にも拡充すべき。

答 令和3年改訂の耐震改修促進計画に基づき耐震改修工事費の補助制度を設けている。補助拡大は国県の動向を踏まえ研究に努める。

問 トイレ環境整備、学校体育館のエアコン設置や断熱化、耐震性貯水槽設置、避難所標識の設置など避難所機能の強化を進める考えは。

答 公共施設整備は多額の予算を伴うため調査研究に努める。避難所標識は県の指針に基づきユニバーサルデザイン表示に努めている。

行財政改革について

問 令和3年度以降、厳しい財政と推測しているが、実際は基金が過去最高額のV字回復。コロナ、物価高騰、インボイス、年金の目減りや医療費の負担増など厳しい中で、さらに痛みを与えてまで行財政改革を断行する状況ではない。

答 V字回復とは程遠く、過度に基金に依存した状況だが、物価高騰対応は行ってきた。着実に行財政改革を進めつつニーズを的確に把握し必要なサービス提供に努める。

問 厳しい財政の一因は、例年多額の収入があるにも関わらず、その法人税を見込まないからでは。

答 万が一を考慮するのが市の責務であると考ええる。

組織体制の見直しについて

問 財政が厳しいと行財政改革を断行する中で、市民に痛みを伴う庁舎統廃合の財源確保は避けるべき。

耐震化から10年も経たない庁舎を建て替える必要はあるのか。庁舎の将来性を伺う。

答 公共施設統廃合が進んでいないことが厳しい財政の要因の一つ。庁舎統廃合は大型事業だからこそ早めに議論すべきであり、分庁方式の課題と老朽化対策を調査検討し将来性を判断すべきと考ええる。

公共施設について

問 ジャンポール使用料について市外の子どもに3倍の値上げをするが、子どもに格差を生む政策だ。

答 プール管理費は市税で賄っていることから市外在住の小中学生には適正な受益者負担を求める。

問 市民が望む公園は縮減でなく維持・確保すべき。早急に計画を示し、公園充実に向け住民と合意を。

答 横断的な視点から施設の集約・複合化を進め、学校施設も活用する。市民意見を伺い合意形成を図る。

問 保育士配置計画、保育を必要とする子どもの推移、身近な地域で通える公共の保育政策への考えは。

答 出生率は減少するが1・2歳児の保育需要は増加傾向にあり、この状態がしばらく続く想定される。保育士の適正配置に努める。

共創のまちづくりについて

問 市長のめざす新しい北名古屋は。

答 健全な財政を基盤とし、風通しの良い自由闊達な風土に根差した、市民が主役、誰もが安心して住み続けられる活力あるまち。

問 自治会は市と共に協力し合う間柄。予算削減は関係性を壊し、自治基本条例策定にも影響する。自治会のあり方をどう考える。

答 機会を捉えて課題の意見交換、改善要望など相互共有しながら、解決策を協議していく。

防災環境

前消防長報告とその対処に関する筆頭副管理者の所感

沢田 哲(市政クラブ)

前消防長は退任前の令和4年、築50年を超え老朽化する消防庁舎、消防車両の更新の遅れを問題として報告された。その後の状況を広域事務組合議会で質問するも、未だ「検討を進める」との答弁にとどまった。

2階以上を使用禁止にするほど老朽化が激しく荒れ果てた西消防署旧庁舎、耐震化対策のされていない消防本部、西春出張所など、放置を続ければ訓練どおりの消防活動は不可能。高額な消防車両も車庫が崩壊しては出勤もできない。

筆頭副監理者でもある市長がリーダーシップをとり早急な対応を。

市長

17万1千有余名の住民から甚大な被害を出さないよう、一刻の猶予も許されない状況だが、現時点では再検討が重要と考える。引き続き西春日井広域事務組合と二市一町で慎重に審議を重



その他の質問

- ・消防所管部長の行政協議会の時系列の検討内容と進捗
- ・消防所管課長の防災整備計画検討会の検討内容と進捗
- ・消防庁舎の長寿命化 現地建替え移転新築の検討内容
- ・上記3問の他市町の管理者との検討の有無及び内容
- ・消防関係車両が被災後に無傷で活動する為の対策

防災環境

「女性の視点からの避難所運営」について

まみや 文枝(公明党)

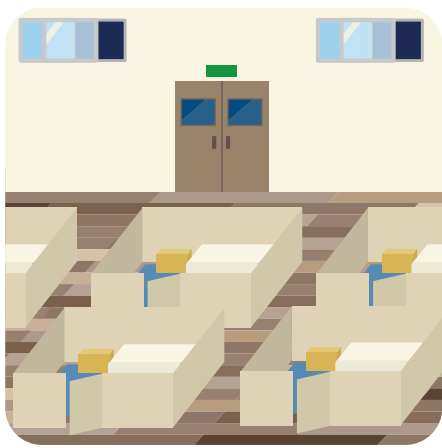
避難所生活では全ての人の安全・安心確保が求められ、生活に即した柔軟な発想と思いやりで、きめ細やかな配慮が必要。

避難所運営に女性の視点を加えることは、高齢者、子ども、妊産婦、障害者、性的マイノリティの方など災害弱者への配慮にもなり、地域防災力の向上につながる。

- ①長期避難所運営には、幅広い視点を生かした市民団体の活用が有効。既存団体と協働・連携する考えは。
- ②女性活躍への考えは。
- ③本市ならではの「女性視点からの防災ガイドブック」を作成しては。

防災交通課長

①今後更に高まるニーズや必要な対策に対応するためにも、地域と市民団体との連携・協働に期待する。
まずは女性団体等の構成員が地域の自主防災組織の活動等に参加してもら



その他の質問

・本市における備蓄品について

訪問介護の基本報酬引き下げに反対します

伊藤 大輔（立憲民主党）

国は訪問介護の基本報酬を引き下げる方針を示した。昨年の訪問介護事業者の倒産件数は67件で過去最多。地域の介護医療に大きな影響を与えることは明らか。

- ①本市の訪問介護事業者への影響をどう見込むか。
- ②訪問介護事業者へ市独自の支援は出るのか。
- ③総合事業への影響をどう見込むか。
- ④在宅で介護や医療を受ける方への影響をどう見込むか。
- ⑤訪問介護サービス供給量の減少が予測される中、地域包括ケアシステムをどう推進するか。

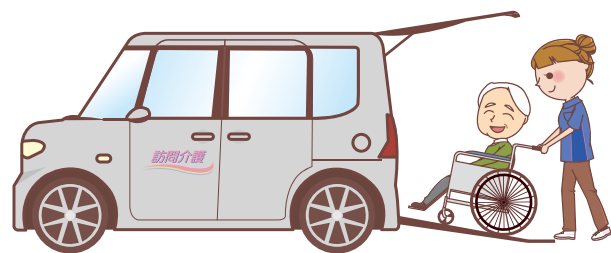
福祉部次長

- ①市内10事業所の経営状況は異なるため、影響を見込むことは困難。
- ②市独自で支援する予定はない。
- ③見込むことは困難だが、市として総合事業を推進する方向性には変わりはない。

なく、可能な範囲で対応する。

④報酬引き下げ如何に関わらず、慢性的な訪問介護員不足で新たな訪問介護のニーズへの対応に憂慮する。

- ⑤住民同士の支え合いを醸成する生活支援体制整備の推進、在宅期間は自立した生活を送ることができるよう介護予防や重度化防止の推進、増加する在宅医療ニーズを支援する体制整備のためにも、多職種連携で継続的に課題に取り組んでいく。



児童・生徒にインフルエンザ予防接種の助成を

川淵 康宏（日本共産党）

昨年は早い時期からインフルエンザの感染が広がりを見せ、本市でも2千人以上の児童生徒が感染、56クラスが学級閉鎖。子どもの場合、合併症（インフルエンザ脳症）の危険性が高く、重い後遺症が出る場合もあり、重症化を軽減するワクチン接種は大切。本市は子どもの医療費は無料になっているものの、かかる医療費は試算すると2千万円を超える。

令和3年度に廃止された子どものワクチン接種助成について、清須市、稲沢市、豊山町など近隣自治体を調査するなど、再考すべきでは。

市民健康部長

接種による感染リスク軽減や重症化を防ぐメリットはあるが、発病を防ぐ高い予防効果は期待できない。医療費抑制の効果を数値化することは困難。インフルエンザ予防接種の助成は、各種健康保険による助成も拡充されてお



り、予防の必要性は認識するが、本市は子ども医療費の拡充に伴い廃止した。コロナ禍では基本的感染対策が徹底された他の感染症の流行もなかった。換気、咳エチケット、手洗い等、学校や家庭での感染対策の啓発に取り組みつつ、近隣の状況も研究する。

その他の質問

・インフルエンザ感染による小・中学校の状況について

中学生に求める防災教育について

井上 一男（市政クラブ）

平日の日中に地震が発生した場合、市外にいる市民が帰宅困難となり一人暮らし高齢者などに寄り添う自主防災組織が担い手不足となる。

その担い手として地元の中学生は適任。防災教育は人材教育でもあり、地域交流の活性化にも。10年後20年後を見据え「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚をもった防災のジュニアリーダー育成を。

- ①防災のジュニアリーダー育成のため「防災部」などを設置する考えは。
- ②災害時自分ならどうするか、自ら考える力を育む教育への考えは。

教育部次長

①地域の防災の担い手となり得る活動の促進と周知で、中学生が自分たちのまちは自分で守るという意識の醸成に努める。また、地域の方との意見交換を通して、いかに地域活動への参加を促進できるか、防災活動の組織体につ



いて併せて研究する。

②自然現象に問題意識を持って捉える感性を育む学習活動に取り組み、身につけた知識や技能を活用し有用性を実感させることで、資質・能力が育成できると考える。また、学校と家庭が連携することで自ら考え、行動する力が育成されるものであり、そういった指導を目指す。

その他の質問

・学校に求める防災教育について

境界知能の人を巡る現状・支援のあり方について

くるた りえ（公明党）

境界知能は、成人で中学3年生程度の知的能力とされ、全国に1千7百万人いると推計する。多くは社会に適応して生活しているが、中には勉強・仕事・人間関係など生きづらさを感じるものの適切な支援を受けられず、社会的孤独や経済的困窮に苦しむ方も。これには早期発見・早期対応が大切で、小学生からのトレーニングで認知機能を鍛え、一人ひとりの特性も把握でき、早期個別支援が可能に。他の小学校で採用しているプログラム「コグトレ」を本市も活用し、境界知能の児童だけでなく全員を対象に取り組むことで早期発見・早期対応につながるのでは。

その他の質問

・ひきこもりの孤立と8050問題について

教育部次長

各小学校ではソーシャルスキルトレーニングに取り組んでおり、「コグトレ」は、適していると判断した児童に対し既に活用している。全児童を対象とすることは考えていない。



市政20周年を契機とした記念事業について

梅村 真史（無会派）

2年後には北名古屋市長誕生20周年を迎える。

市長は、新たなまちの魅力や地域の価値を市民と共に創りあげていくため、市民と話し合いながら自治基本条例を策定すると述べられた。

市民に痛みを伴わせる厳しい予算が示されたが、市民には「市のために頑張ろう」という思いを抱いていたことが重要。市民の機運醸成のためには、20周年を契機とした記念事業も一つのチャンス。市民と共に知恵を出せば、お金をかけないイベントも開催できる。10周年で実施したダンスやコマ対戦等をブラッシュアップしても良いのでは。

市長

20周年に合わせ、自治基本条例制定を通じて、多様な主体が一緒に新たな魅力や地域の価値を作り上げる「共創のまちづくり」を実践するための強固

な土台を築き上げたい。

現時点では、こうした機会を捉え、市のために頑張ろうという方を一人でも多く増やし、広く市民、団体、民間企業とともに地域への誇りや愛着、未来への希望を育むことができるような周年事業を実施したいと前向きに考える。

その他の質問

・対話集会の現状について



災害弱者の支援について

小村 貴司（無会派）

協議を進める。

西春日井福祉会と協定を締結しており、指定避難所では生活が困難な場合、受け入れ要請ができるとしている。今後も福祉避難所充実に向け調整、検討する。

その他の質問

・ハザードマップの見直しについて
・事前復興まちづくり計画について
・ハラスメント対策について



社会福祉課長

昨年、避難行動要支援者名簿登録者を対象に計画作成への意向調査を実施、同意した25人が個別避難計画を作成。この他、自主防災会等地域支援者の協力のもと個別避難計画を作成した3人が、総合防災訓練で、計画の避難経路に沿った訓練を実施。多くの要支援者が計画を作成できるよう関係者と

災害時の緊急対応における介護保険の対応

ひろた 幸治（無会派）

能登半島地震では介護事業所が定員を超過して受け入れたという情報があった。災害救助法適用前の受け入れは報酬が得られない場合があると聞く。大規模災害時、行政の要請がなくとも事業所が緊急で受け入れる事は想定される。その結果、制度違反として保険請求が認められず経営を悪化させることを危惧する。

災害時に事業者が後の心配をする事無く支援行動ができ、その緊急対応が報酬によって適切に報われるよう、介護保険の対応方針を事前に明らかにするとともに緊急受入は柔軟に認められる事が適切。市の考えは。

その他の質問

・給食の食材についての認識



本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議・委員会開催日に、市役所東庁舎4階東エレベーター前で傍聴受付を行います。（日程はP.20定例会の予定参照）

傍聴の受付時間は、本会議、委員会とも会議開始30分前からとなります。

※委員会は先着10名となり、途中での入退場はできませんのでご了承ください。



全員協議会室



本会議場

市民と市議会議員の意見交換会を計画

令和6年10月頃

このまちのことに
市議会議員と意見交換をしませんか？
まちでの困りごとや、将来こんなまちにしたい！
という思いをぜひお聞かせください。
日程など、詳細が決まりましたら
随時お知らせいたします。



ワークショップイメージ

アンケートにご協力ください（所要時間1分程度です）



意見交換会でのテーマを選定するにあたり、
市民のみなさんの関心の高いテーマはどのようなものか
調査させていただくものです。
意見交換会への参加に関わらず、ぜひご回答いただけますようお願いします。
調査の集計結果については後日、北名古屋市議会のウェブサイトから公開します。

回答者のメールアドレスなど個人情報は収集しておりません。
アンケートの内容に対する個別の回答も致しません。あらかじめご了承ください。



ってどんな意味？

平成27年に議会だよりの愛称を募集し、数多くの
応募作品の中から選ばれたのが、『きたしる』です。
北名古屋市の「きた」と議会を意味する英語のカウ
ンシル(council)の「しる」を組み合わせた造語で、
「北名古屋市議会をもっと知ってもらいたい」とい
う願いが込められています。

ロゴのデザインについては、名古屋芸術大学の
学生さんに作成していただきました。

表紙紹介

名古屋芸術大学 芸術学部 2023年度 卒業制作

菅原 寧々 SUGAWARA Nene

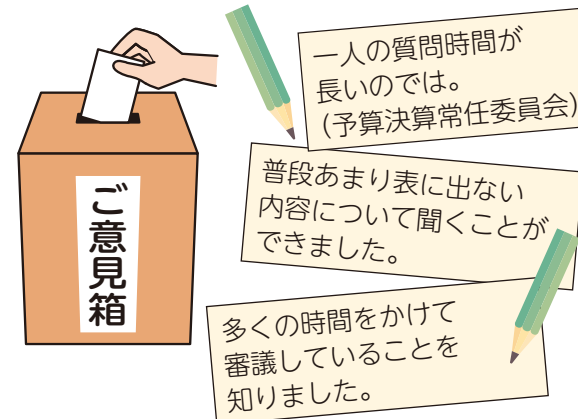
春の便り

ここであった思い出を大切に抱え込んで、
一歩踏み出す頃にまた振り返るだろう。
春風が吹いて、私を新たな世界へ連れて行ってくれる。



市議会モニター意見箱

～第1回 定例会～



その他たくさんの
貴重なご意見、ご提案を
いただきました。
今後の議会運営に役立てて
いきたいと思っています。



皆様の声をお聞かせください

議会だよりをより充実させるため、
皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

議会事務局

●メール
giji@city.kitanagoya.lg.jp

●FAX
(0568) 23-3140



議会活動報告

市議会モニターさんと意見交換を行いました 開かれた議会を目指す

令和5年4月より本市議会の会議を傍聴していただいている市議会モニターさんにお越しいただき、
市議会に対するご意見やご要望を、議員（議長、副議長、議会運営委員会委員長）が直接お聞きしました。

市議会モニターさんからいただいた意見（一部）

議場のモニターに質問や答弁をリアルタイムに文字で表示できないか？

議会だよりの「きたしる」発刊を、公式ラインでお知らせできないか？

傍聴席に車いすの方がみえた時の対応は？

一般質問の結果、どう反映されたか、わかるようにしてほしい。

2月号より
対応しました

市議会モニターとは？

議会の会議を傍聴していただき、
議会・議員活動に対するご意見やご要望をいた
だいております。
毎年2月に募集し、1年間（4月～翌年3月）の任
期で活躍していただきます。



令和6年1月17日 市役所東庁舎 第1委員会室にて

いただいたご意見を基に、市民に親しまれる開かれた議会の実現のため、議会改革に取り組んでまいります。

令和6年 第2回定例会の予定

6月 4日(火)	本会議（初日）
6月13日(木)	本会議（一般質問）
6月14日(金)	本会議（一般質問） ※6/13にすべての日程が終了した場合は開催されません。
6月17日(月)	予算決算常任委員会
6月18日(火)	福祉教育常任委員会
6月19日(水)	建設常任委員会
6月20日(木)	総務常任委員会
6月21日(金)	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会
6月26日(水)	本会議（最終日）

請願書・陳情書の提出について

令和6年第2回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、5月24日(金)の午後5時(予定)です。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

〔受付時間〕 会議開始30分前から
〔受付場所〕 市役所東庁舎 4階
東エレベーター前

※委員会は先着10名で、
途中での入退室はできませんのでご了承ください。

ホームページをご覧ください

インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます。市民のみなさまのアクセスをお待ちしております。

※通信料等はご利用者負担となります。

北名古屋市議会

検索



編集後記

今号では、令和6年度当初予算の議案審査が行なわれました。
削減となる事業内容もあり、とても厳しい予算となっていますが、議会としても市民の皆様の生活に影響が出ないように、様々な角度から行政に質問させて頂きました。

また議員13名が一般質問（代表・個人）に立ち活発な議論が展開されました。

今後も市議会として「市民に開かれた議会」の推進と、皆様にとって市議会をもっと身近に感じて頂けるよう、皆様に寄り添った、より親しみやすい広報誌を目指し全力で取組んで参りますので宜しくお願い致します。

